

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成30年度技術情報第4号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、今後の防除指導の参考にしてください。

平成30年度技術情報第4号

- 1 対象害虫 果樹カメムシ類（特にチャバネアオカメムシ）
- 2 対象作物 果樹全般（主にカンキツ）
- 3 発生地域 県本土
- 4 発生時期 早い
- 5 発生量 やや多

6 情報の内容

果樹カメムシ類の餌植物ヒノキ球果が加害により餌として不適になっている地点がみられる。今後、ヒノキから離脱し果樹園へ飛来して吸汁加害する恐れがあるので、こまめに園内外をよく見回り注意する。

6 情報の根拠

- (1) カメムシ類による加害により、餌植物ヒノキ球果の吸汁痕数（口針鞘数）が急速に増加している（表1）。カメムシ類の吸汁により、吸汁痕数が多くなると餌として適さなくなり、ヒノキから離脱して果樹園等に移動することがある。本年は、すでに吸汁痕が平年に比べて多く餌として適さなくなってきているとみられる（表1）。
- (2) これらの地点のヒノキには、チャバネアオカメムシが平年より早い時期から多く寄生しており幼虫もみられる（表2）。一方、チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺虫数が出水市で多い（表3）。

7 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差がある。
- (2) よく園内外をこまめに見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。一回目の防除には残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長する可能性があるため、散布後はハダニ類の発生に注意する。
- (3) 防除にあたっては、防除薬剤の使用回数や使用時期を厳守する。

表1 ヒノキ球果の吸汁痕数（口針鞘数）の推移（単位：本/果）

調査年	7月		8月		9月	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
本年						
南さつま市	0.0	4.0	4.8			
いちき串木野市	0.9	13.0	10.4			
さつま町	0.2	14.6	23.0			
阿久根市	1.8	18.0	34.3			
出水市	2.4	7.9	25.6			
霧島市	0.2	5.7	8.7			
平均	0.9	10.5	17.8			
前年	—	—	1.5	5.5	13.7	19.1
平年	0.1	2.0	5.4	10.8	15.7	20.0

注1) ヒノキの球果の加害が進むと口針鞘数が増加し、餌として適さなくなると餌植物から離脱する。
ヒノキ球果の採取は、7月前期（7/5～9）、7月後期（7/19～24）、8月前期（8/3～7）で実施。

表2 ヒノキ球果のチャバネアオカメムシの寄生虫数（単位：頭/50枝）

調査年	成虫						幼虫						8月前期 幼虫比率
	7月		8月		9月		7月		8月		9月		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
本年													
さつま町	67.0	20.0	31.0				0.0	9.0	6.0				16%
阿久根市	13.0	4.0	6.0				3.0	6.0	5.0				45%
出水市	19.0	15.0	11.0				0.0	4.0	1.0				8%
平均	33.0	13.0	16.0				1.0	6.3	4.0				20%
前年	—	—	4.8	23.5	48.1	38.6	—	—	0.6	0.8	1.1	2.1	11%
平年	4.1	6.5	9.3	11.6	19.3	16.7	1.2	4.5	4.4	3.6	3.2	1.6	32%
寄生虫数	多 (+)						やや多 (+)						

注2) 餌植物であるヒノキの球果の寄生虫数を調査。

調査は、7月前期（7/5～9）、7月後期（7/19～23）、8月前期（8/7）で実施。

8月前期には、上記3地点の他、球果採取地点（霧島市、いちき串木野市）でも成虫・幼虫を確認している。

表3 予察灯の誘殺虫数、7月第5半旬～8月第1半旬の合計（単位：頭）

調査地点	ツヤアオカメムシ			チャバネアオカメムシ		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
	(H30)	(H29)		(H30)	(H29)	
南さつま市金峰町	171	51	99	107	5	217
〃 加世田唐仁原	85	28	86	27	11	189
いちき串木野市湊町	9	27	44	46	1	69
出水市美原町	294	20	338	3,682	8	906
鹿屋市串良町	117	125	162	15	16	50
誘殺虫数	並			やや多 (+)		

注3) 平年は、南さつま市金峰町、鹿屋市串良町が過去10年間、他は7か年の平均。

予察灯の光源は、南さつま市金峰町は水銀灯100W、鹿屋市串良町は捕虫灯20W、他は捕虫灯40W。